

国際連合地域開発センター(UNCRD)

一般公開セミナー



SUSTAINABLE
DEVELOPMENT
GOALS

2025年

3月18日(火)

14:00-16:00

(開場:13:30)

参加費無料 : 要申込(先着50名)

「スタートアップ×社会課題」 で促進するSDGsと社会変革

社会課題解決や持続可能性に焦点をあてた企業活動が、SDGs達成へ大きな貢献をもたらすことが注目されています。本セミナーでは、日本最大級のインキュベーション施設「STATION Ai」を会場に、社会課題解決型スタートアップの起業家や支援団体、学識者をお招きし、持続可能な社会の実現への取組について考えます。

会場

STATION Ai (大会議室1・2)
名古屋市昭和区鶴舞1丁目2番32号
JR鶴舞駅/地下鉄鶴舞駅から徒歩約6分

登壇者(予定)

(株)UNERI CEO 河合将樹氏 / ISA 事務局長 小池克典氏
(株)NEWSTA CEO 鈴木碩子氏 / (株)TOWING CEO 西田宏平氏
名古屋大学大学院 准教授 涌田幸宏氏
(登壇者略歴・プログラムは裏面をご覧ください)

申し込み方法



左のQRコードか、
下記URLからお申込みください。
<https://forms.office.com/r/YeghczFwy1?origin=lprLink>

お問合せ先

国際連合地域開発センター(UNCRD)

TEL: 052-561-9381/ 9377

Email: training@uncrd.or.jp

主催: 国際連合地域開発センター(UNCRD)

共催: 国連センター協力会

中部圏SDGs広域プラットフォーム

プログラム（予定）	
13:30	開場・受付
14:00	開会
14:00-14:10	開会あいさつ/趣旨説明（UNCRD）
14:10-15:00	事例発表（各10分） ① 名古屋大学大学院環境学研究科 准教授 涌田幸宏 氏 ② 一般社団法人インパクトスタートアップ協会（ISA） 事務局長 小池克典 氏 ③ ㈱NEWSTA CEO 鈴木碩子 氏 ④ ㈱TOWING CEO 西田宏平 氏 ⑤ ㈱UNERI CEO 河合将樹 氏
15:00-15:30	パネルディスカッション 【モデレーター】 ㈱UNERI CEO 河合将樹 氏 【パネリスト】 ISA 事務局長 小池克典 氏 / ㈱NEWSTA CEO 鈴木碩子 氏 / ㈱TOWING CEO 西田宏平 氏 / 名古屋大学大学院 准教授 涌田幸宏 氏
15:30-16:00	交流会（任意参加）

登壇者略歴



河合 将樹

㈱UNERI CEO

1995年愛知県生まれ。イギリス留学、NPO法人ETICで学生起業家向けプログラムの運営を経て、2020年に株式会社UNERIを創業。社会起業家育成や約460件の共創事例、約4億円の資金調達支援などを通して、東海地域スタートアップエコシステムの基盤をつくる。2022年にSIIFのインパクト投資ファンドで投資業務に従事。2024年には業界最大規模イベント「IMPACT SHIFT」を開催した後、一般社団法人IMPACT SHIFTの代表理事に就任。金融庁主催「インパクトコンソーシアム」の地域・実践分科会ディスカッションメンバー。Forbes JAPAN 30 UNDER 30 2024選出。



小池 克典

インパクトスタートアップ協会 事務局長

1983年生まれ。大学卒業後、就職活動をせずパーテナーとしてキャリアをスタート、その後屋職に変遷しメガベンチャーで14年勤務。いち法人営業からスタートし、営業部門長や営業部門の設立。SLUSH ASIAの立上げをきっかけにスタートアップ領域に。イントレプレナーとして新規事業立上げ、子会社の創業、出資担当を経験。2023年に心臓の大病が発覚し手術・療養・復活を機に独立。現在はPopUp Agency「Squad」を創業し複数のスタートアップPJを支援。主な立場としてインパクトスタートアップ協会の事務局長としてエコシステムの構築に従事。



鈴木 碩子

㈱NEWSTA CEO

愛知県出身の連続起業家。2017年「もっと、わたしらしく」をビジョンに掲げる株式会社ismを設立。2020年に同社を株式会社 PR TIMESへ売却後、プロダクト本部長としてプロダクトの企画・デザインチームを立ち上げる。2022年に株式会社NEWSTAを新たに設立。障がい児家族×IT領域で「ファミケア」ブランドを運営。全国1万の障害児家族家族とつながるポータルサイトや相談QAアプリ、家族と企業を繋ぐソリューションを提供。自身も疾患児を育てる2児の母。



西田 宏平

㈱TOWING CEO

名古屋大学在学時に出会った農研機構が開発した土壌微生物培養技術に奥深さと可能性を感じ、㈱TOWINGを立上。自社で開発した独自技術も掛け合わせた地域農業をアップデートするサービスを展開し、超循環社会の実現を目指す。

主な受賞・採択歴は「Forbes JAPAN 30 UNDER 30 2023」選出、第38回JCI JAPAN TOYP 2024 農林水産省大臣奨励賞、三菱UFJ銀行が主催の「第8回Rise Up Festa」最優秀賞などがある。



涌田 幸宏

名古屋大学大学院環境学研究科 准教授 博士(商学)

千葉県柏市出身。慶應義塾大学商学部卒業後、同大学院に進学。博士課程単位取得退学後、群馬県の関東学園大学経済学部専任講師に着任。1996年に縁あって名古屋へ。名古屋大学大学院人間情報学研究科助教授などを経て、現在に至る。専門は、経営組織論。とりわけ新制度派組織論の視点から、イノベーションの普及やソーシャル・アントレプレナーシップについて研究を進めている。著書は『表象の組織論』（中央経済社、共編著）、『コミュニティ・ラーニング』（ナカニシヤ出版、共著）、『価値創造の経営学』（中央経済社、共著）など多数。